



群馬県立心臓血管センター

地域医療連携たより

No.
66

当センターは《地域医療支援病院》です。

群馬県立心臓血管センター
地域医療連携室

〒371-0004 群馬県前橋市亀泉町甲 3-12
TEL:027-269-7455 (内線 2040・2043) / FAX:027-269-7286
URL: <https://www.cvc.pref.gunma.jp/>

目次

- ▶ 地域医療連携室より新年挨拶
- ▶ 内藤院長より新年挨拶
- ▶ 河口室長より新年挨拶
- ▶ コメディカルコーナー 《リハビリ課／ヘルスアップ教室の紹介》
- ▶ ミニレクチャー「今さら聞けないASO診療」
第 85 回群馬県立心臓血管センター症例検討会ミニレクチャーより 循環器内科部長 矢野 秀樹
- ▶ 令和 5 年 1 月度外来担当医一覧表

明けましておめでとうございます

旧年中は大変お世話になりました本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます



旧年中は大変お世話になりました。

本年も引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

院長 内藤 滋人より新年のご挨拶

令和5年の年頭に当たり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は、群馬県立心臓血管センターとの地域医療連携におきまして、患者さんの紹介、逆紹介に多大なるご協力をいただき大変ありがたうございました。

心臓血管センターは平成19年より、地域医療支援病院として病診・病病連携を推進しております。令和4年までの間に、登録医師数、医療機関は着実に増加し、現在660名の登録医の先生方および522の医療機関と連携していただいております。日頃のご支援に重ねて感謝申し上げます。昨年度もコロナの収束には至らず、症例検討会や院外講師による学術講演会などを、

Webを通じて皆様届けさせていたいただきました。また10月には登録医大会もWebを用いて当センターで行った最新の医療を紹介させていただきました。本年も先生方から好評をいただいております、4Kにアップグレードされた映像を用いて、皆様に最新情報をお伝えしたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

当センターの特色を改めてご紹介しますと、臨床面では、虚血部門は、急性冠症候群に対する冠動脈形成術や閉塞性動脈硬化症に対する末梢血管形成術などを安全かつ確実に実施しています。不整脈部門は、県内唯一である感導リード除去および左心耳閉鎖デバイスを推進するとともに、全

国トップレベルのカテーテルアブレーション数を誇っています。また心臓血管部門は、冠動脈バイパス手術、大動脈疾患、弁膜症等に対する手術のほか、低侵襲心臓手術や先進的な治療（植込型補助人工心臓治療等）に取り組み、特に大動脈解離の手術は県内最後の砦となっております。さらに各部門を超えて、ハイブリッド手術室を活用し、複数診療科と多職種で構成する専門チームにより、経皮的動脈弁置換術（TAVR）や経皮的僧帽弁クリップなどの最先端医療を安全かつ確実に提供しています。

登録医の先生方におかれましては、はや4年目となるWithコロナの中での診療となりますので、くれぐれ

もご自愛いただきたく思います。本年も地域連携・入院センターをさらに充実させ、登録医の先生方との連携をさらにスムーズかつ親密にしていきたいと考えております。また登録医の先生方限定の予約紹介専用の電話回線を設けさせていただいておりますので（0271-21213018）、今後ともご利用いただきたく存じます。

心臓血管センターは、本年も職員一丸となって感染対策を徹底しながら最先端医療を提供していく所存であります。昨年に増しての病診・病病連携を宜しくお願ひ申し上げます。結びに、登録医の先生方の益々のご発展を祈念しまして、令和5年年頭の挨拶とさせていただきます。



ないとう しげと
内藤 滋人

群馬県立心臓血管センター 院長

- ・日本内科学会認定医
- ・日本循環器学会専門医
- ・日本不整脈学会専門医
- ・ICD認定医
- ・CRT認定医

外来診療日
月・火・水・木・金

※詳細は外来担当医一覧を
ご参照ください。

謹賀新年 本年も宜しくお願ひ申し上げます

地域医療連携室長 河口 廉より新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は当センターの医療連携にご協力を賜り、あらためて厚く御礼申し上げます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

昨年もコロナウイルス感染症の終息の兆しの見えないうち、先生方の日常臨床でのご苦勞もいかにほどであったかと拝察いたします。

当センターではコロナ禍に於きましても県内の循環器疾患の最後の砦として、また、最新の循環器治療を継続提供できるよう職員一同一丸となって取り組んでおります。地域医療連携室

では、それらの治療を医療連携を通して先生方の診療の一つのオプションとして利用いただき、より多くの患者さんにお役立ていただき先生方とともに地域医療に貢献できるように対応してまいります。

心・血管疾患の精査、加療が必要な患者さんがいらつしやいましたらご紹介いただきたく願ひ申し上げます。速やかに精査加療を行い、可能な限り早期に逆紹介をさせていただきます。また、定期フォローが必要な患者さんにつきましましては先生方と併診させていただきます。

なお、緊急症例につきま

しては、従来通り24時間心疾患救急医療体制を継続してまいりますので、緊急対応が必要な際にはいつでもご連絡ください。

また、地域医療連携室では先生方への当センター診療体制に関する情報提供、紹介患者に関する情報提供、その他の医療連携業務を行っておりますが、昨年もコロナ禍のため症例検討会、学術講演会をZoomを用いたハイブリッド方式での開催を余儀なくされております。登録医大会につきましても、先生方と直接対面することができず、従来の登録医大会の顔の見え

かわぐち れん
河口 廉

群馬県立心臓血管センター
循環器内科第一部長
地域医療連携室長

- ・日本内科学会認定医
- ・日本循環器学会専門医
- ・日本心血管インターベンション治療学会専門医
- ・胸部ステントグラフト指導医
- ・腹部ステントグラフト指導医
- ・浅大腿大動脈ステントグラフト実施医
- ・経カテーテル的大動脈弁置換術指導医
- ・経皮的心房中隔欠損閉鎖術認定医
- ・経皮的動脈管開閉鎖術認定医

外来診療日
月・火・金

※詳細は外来担当医一覧をご参照ください。

る連携の趣旨に沿えず非常に残念でした。少しでも早く従来方式での開催ができることを望んでやみませんが、本年もまだしばらくの間は同様の開催方式を余儀なくされるかと思われまします。ご不便をおかけいたしますが、ご参加いただければ幸いです。

末筆となりましたが、先生方のご健勝、そして一日も早いコロナの終息を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年も引き続き当センターの医療連携にご協力のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

ヘルスアップ教室によるこそ

皆さん、こんにちは。循環器内科の安達です。

心臓病の専門医が集まる「日本循環器学会」という集まりで、心臓病の予防と治療には、最初に心臓リハビリテーションと薬物療法を行いなさいというガイドラインが出されました。動くとき胸が痛くなる狭心症や、動悸・息切れを感じる心不全などは、まず最初に運動負荷試験を行ってどの程度の運動が安全なのかを確認した後に、運動療法と食事療法を薬物療法とともに開始するという事です。過激な運動ではなく適切な運動を行えば、安全に、そして7割以上で胸痛や息切れが消え、元気に長生きできるようになります。

当院のヘルスアップ教室はこれを狙った教室です。最初に安全性を確認し、その後3か月間、楽しく自分で心臓病を治療してしまおう、あるいは予防してしまおうということを目的にしています。少しおなかが出てきてしまった方、健康診断で糖尿病やコレステロールなどの異常を指摘されてしまった方、心臓病の治療と予防を目指して私たちと一緒に頑張りましょう。ご参加をお待ちしております。



▲ 健康教室(医師による講義)の様子



▲ 運動(準備体操)の様子

教室の詳細

日 程 水曜日(全12回) 午後1時10分～4時まで

内 容 個人の運動対応能力に合わせた1.5時間の運動と、医師や健康運動指導士、管理栄養士、看護師、療法士など医療スタッフによる健康教室を1時間実施します。教室の開始と終了時には採血・体組成測定・体力測定・姿勢写真撮影を実施し、3ヶ月間の取り組みの評価を行います。また、毎日の食事や運動、体重、血圧などを記録することで、自身の生活を可視化し習慣の改善を図ります。

費 用 教室費用 31,300円 (スクリーニング負荷テスト別途)

申込方法 電話またはFAXで、住所、氏名、生年月日、電話番号をお知らせ下さい。

申込問合せ先 群馬県立心臓血管センター
☎代表 027-269-7455 FAX 027-269-1492

生活習慣に改善が必要な患者さんがいらっしゃいましたらぜひご紹介ください。

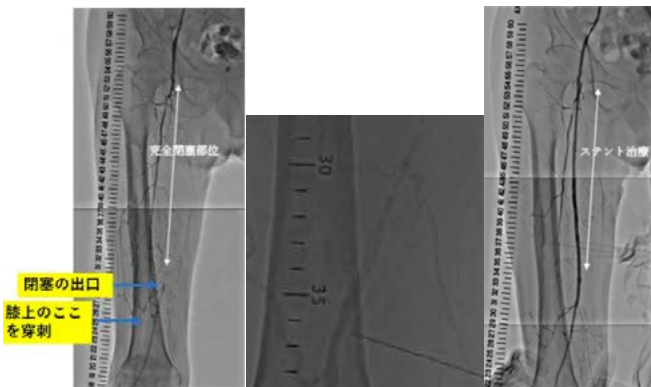
今さら聞けないASO診療

≫ 循環器内科部長 矢野 秀樹

食生活の欧米化や高齢化に伴い動脈硬化性疾患である虚血性心疾患や脳血管性疾患が増えています。末梢動脈疾患も急激に増加し、本邦における末梢血管治療(EVT)数も爆発的に増えております(2011年約10000件→2021年約40000件)。以前では外科的バイパス手術が第一選択であった慢性完全閉塞病変を含めた複雑病変の治療が増えてきております。薬剤塗布バルーン・薬剤溶出性ステント・ステントグラフト(人工血管)と血行再建術の仕上がりの選択肢も増えました。石灰化を貫通させるクロッサーシステム等治療を補助するオプションも増え、これまで治療困難と考えられていた症例でも治療可能となりました。EVT治療のtopicをまとめてみました。

① Distal puncture の確立

EVT 件数増加・治療成功率向上の要因です。慢性完全閉塞病変の血行再建成功率を高めるために閉塞部の末梢側からもアプローチし、上から下から2方向でワイヤー通過を試みます。末梢側アプローチとして浅大腿動脈末梢を穿刺し、ワイヤーを進めていく”表パン”や膝下動脈の後脛骨動脈や足背動脈を穿刺する distal puncture が確立されております。



② 治療の低侵襲化

最近のトレンドの一つとして低侵襲化も挙げられます。特に腸骨動脈領域であれば専用のシースシステムで橈骨動脈アプローチでの治療が可能となっております。患者さんは治療直後から歩行可能であり、翌日の退院も可能です。

③ EVT の残された課題

海外で承認されている医療機器・デバイス(石灰化病変を削るデバルキングデバイス等)が日本では使えないデバイスラグが深刻な問題となっております。医療機器市場は世界で全体的に拡大している一方、日本の市場成長は停滞、日本市場の魅力の低さが要因と考えます。しかしこのデバイスラグ問題の産物

ともいえるのが日本発祥の様々な EVT テクニックです。橈骨動脈アプローチ、distal puncture、ワイヤーランデブー、IVUSガイド wiring 等多数あります。日本の EVT 治療のガラパゴス化により、日本の EVT は世界一となったのかもしれない。



④ 無症候性の下肢閉塞性動脈硬化症はどうする?

よくある質問です。スクリーニングで血圧脈波を測定したらABIが低値でした。しかし、明らかな跛行症状等下肢虚血症状なく、お困りの先生もいらっしゃると思います。実はガイドライン上、無症候であれば血管内治療の適応はありません。しかし少なくともASO患者の約30%が著しい冠動脈疾患、10%が脳動脈疾患を持っています。そのため、冠動脈疾患のルールアウト含め、頸動脈プラークの把握や無症候性脳梗塞の有無等全身の動脈硬化性疾患のルールアウトは必須と考えます。ご紹介いただければ冠動脈CT、頸動脈エコー検査等施行いたします。

当院でも年々EVT件数は増加傾向です。患者さんは治療終了後、即座に『足が温かい』、『歩いても痛くない』等の症状改善を自覚されます。また足趾壊疽症例では傷が良くなり、切断を回避できたり、切断範囲が最小限になることもあります。今後も一人でも多くの末梢動脈疾患の患者さんにご納得頂けるような医療を提供することを目指していきます。

群馬県立心臓血管センター 外来担当医一覧表

※業務都合等で変更となる場合もありますので、確認のうえご連絡ください。

令和5年1月1日 現在

診療科	医師名	月	火	水	木	金	診療科	医師名	月	火	水	木	金			
循環器内科	虚血性疾患 心臓部	かわぐち れん 河 口 廉	●	●			●	心臓血管外科 ※午後の診療は 受付12:30～ (急患を除く)	えづれ まさひこ 江 連 雅彦		第1	第1 除く	←9:00～			
		くりばら じゅん 栗 原 淳	●			●			やまだ やすゆき 山 田 靖之			第3 除く				
		や の ひでき 矢 野 秀樹			●	第2,4			ほしの じょうじ 星 野 文二			●				
		け み ゆうた 毛 見 勇太		●					おかだ しゅういち 岡 田 修一			第2 除く	←10:00～			
		すがの こうた 菅 野 幸太					●		かねこ たつお 金 子 達夫			●				
		きのした さし 木 下 聡			●				は せ が わ ゆたか 長 谷 川 豊			第4 除く	第1,3 第4			
		おおしま しげる 大 島 茂			●	●			外科 消化器外科	すずき じゅんこ 鈴 木 純子	●			●		
		ほしざき ひろし 星 崎 洋		●			●			すとう としなが 須 藤 利永		●	●		●	
		とやま たくじ 外 山 卓二			第2 除く					すずき ひでき 鈴 木 秀喜	●	●		●	●	
	不整脈部	午前 循環器内科	ないとう しげと 内 藤 滋人	●	●	●	●	●	整形外科	たけち るみ 武 智 瑠美		●	●		●	
			なかわら こうき 中 村 紘規				●			あり た せつ 有 田 覚			●			
			み き ゆうこ 三 樹 祐子	●						循環器内科 (専門外来)	あ だ ち ひとし 安 達 仁			●		
			たけ 武 ゆたか 武 武 悠太			●			糖 尿 病 糖 尿 病 指 導		む ら た まこと 村 田 誠				●	
			ごとう こうじ 後 藤 貢士	●				●	弁 膜 症・ 肺 高 血 圧 症・ 成 人 先 天 性 心 疾 患		やました えいじ 山 下 英 治	●				
			さ さ き たけひと 佐 々 木 健 人					●	心 不 全	やました えいじ 山 下 英 治		●			第2,4	
			きむら こうき 木 村 光輝	●					パースメーカー	あ だ ち ひとし 安 達 仁			●			
			かせの けんいち 粕 野 健一		●				閉 塞 性 動 脈 硬 化 症	な い と う しげと 内 藤 滋 人				第2	第2	
			よしむら しんご 吉 村 真 吾					●		み き ゆうこ 三 樹 祐 子					第2,3	
なかたに ようすけ 中 谷 洋 介		●					うぶかた さし 生 方 聡					第4				
はるぐち ゆみこ 原 口 裕美子		●					や の ひでき 矢 野 秀 樹	●								
たまざわ りょう 瀧 澤 良 哉				●		診療科	医師名	月	火	水	木	金				
心臓リハビリ部門	午前	あ だ ち ひとし 安 達 仁	午後	●		●										
	午後	む ら た まこと 村 田 誠			●											
新患者来	循環器内科 担当医	午前8時30分～11時														
		●	●	●	●	●										
診療科	医師名	月	火	水	木	金										

1 受付時間は、午前8時30分～11時までです。
なお、予約再来の方は、午前8時15分から受付いたします。

【外来休診日】
土曜、日曜、祝日
年末年始(12/29～1/3)

2 紹介状持参の患者さんは、初診・再来にかかわらず、総合受付6番(地域医療連携窓口)で受付いたします。

3 当院は「紹介型外来」を行っており、紹介状持参の患者さんを優先して診療いたします。

地域医療連携室では、先生方から事前に患者情報を御連絡いただいたうえで、診察日時を予約いたします。FAX用診察申込書またはFAX用検査予約申込書<<MRI・CT・シンチグラム・骨密度(DXA法)>>を御利用ください。

円滑に診療を進めるためにも、事前予約を御活用ください。

なお、午後5時以降、または休診日にお

送りいただいたFAXへの対応は、翌日または休診日明けとなります。

あらかじめ、ご了承ください。

患者さんの待ち時間を少なくするために、御協力をお願い致します。

予約紹介専用(連携担当直通)

電話:027-212-3018 / Fax:027-269-7286